監査ログ

- 監査ログ （1 ページ）

監査ログ

Nexus Dashboard Orchestrator のシステム ロギングは、最初に Orchestrator クラスタをデプロイしたときに自動的に有効になり、環境内で発生したイベントと障害をキャプチャします。

GUI 内で直接 Nexus Dashboard Orchestrator のログを表示するには、メインのナビゲーション メニューから **[操作 (Operations)]** > **[監査ログ (Audit logs)]** を選択します。

[**監査ログ (Audit Logs)**] ページで、**最新のフィールド**をクリックして、ログを表示する特定の期間を選択できます。たとえば、2017 年 11 月 14日から 2017 年 11 月 17日までの範囲を選択し、[**適用 (Apply)**] をクリックすると、この期間の監査ログの詳細が [**監査ログ (Audit Logs)**] ページに表示されます。

次の基準に従ってログの詳細のフィルタ処理を行うには、[**フィルタ (Filter)**] アイコンをクリックします。

- **ユーザ(User)**: ユーザ タイプに基づいて監査ログのフィルタ処理を行うには、このオプションを選択し、[**適用 (Apply)**] をクリックします。
- **タイプ (Type)** : 監査ログをポリシータイプ（サイト、ユーザ、テンプレートなど）でフィルタリングするには、このオプションを選択して、**[適用 (Apply)]** をクリックします。
- **アクション(Action)**: アクションに基づいて監査ログをフィルタ処理するには、このオプションを選択します。使用可能なアクションとしては作成、更新、削除、追加、関連付け、関連付けの解除解除、展開、展開の解除、ダウンロード、アップロード、復元、ログイン、ログの失敗があります。アクションに従ってログの詳細をフィルタ処理するには、アクションを選択して **Apply** をクリックします。

監査ログ

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。